地域クラブ紹介
コンプライアンス研修　　号外

令和８年１０月　茅野市教育委員会

9月30日（水）に、茅野市総合体育館ミーティング室において、地域クラブ指導者を対象にコンプライアンス研修が行われました。

19クラブ21名の参加で、途中グループワークを取り入れながら、研修を深めることが出来ました。

地域クラブコンプライアンス研修~子どもを中心に考える指導の在り方～

講師　　南信教育事務所学びの共創課　大嶋信一郎様

内　　容

1　指導者に求められることとして、長野県地域クラブ活動推進ガイドラインより説明
　事故やトラブルへ対応する知見を身に付ける大切さ
　実技指導、安全・障害予防に関する幅広い知識や技能の習得
　体罰・ハラスメント等の根絶と生徒の基本的人権などの権利擁護の観点に留意
　事故やトラブルへの速やかな対処

2　子どもたちのニーズの把握（様々なニーズがあること）
　仲間と一緒に活動したい、上手になりたい、大会で力を発揮したい等

3　パワーハラスメントの6類型
　身体的攻撃、精神的攻撃、人間関係の切り離し、過大要求、過小要求、個の侵害

4　暴力暴言を生む３つの背景
　勝利至上主義、指導力の不足、負の連鎖



5　グループワーク
　気づき、視点切替、代替案の視点で9枚の
　ケースカードからハラスメントを考える

6　望ましいコーチングスタイル

7　子どもとの関係で大切にしたいこと
　充実感ある活動を共にし、話合い、励まし、
　価値付け、アドバイス、評価の実行

8　子どもを守るために「知る」大切さ
　「予測できず避けられない」から「予測でき、予防が可能」へ

9　求められている指導
　子供の自主性、個性を尊重した指導
　対話を重視した指導
　安全を前提とした指導（予見・予防の徹底）

風通しの良い指導者同士、風通しの良い保護者と指導者で地域クラブを運営していくことが出発点です。運営の在り方を日々見直し、指導者と保護者でクラブを創っていきましょう。